



祐介の目

大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.33

毎月1日号に掲載

子供ほど道徳観・正義感が充実」という結果も出ている。怪我をしたらどうするのかという懸念もあるが、自己責任で遊ぶことがルールだ。

競馬場跡地の公園について

競馬場跡地活用基本構想に対するパブリックコメントが実施された。市民より多数の意見が寄せられ、中でも「弓道場」、冒険遊び場「プレーパーク」、スケートボード・インラインスケート・BMX・ストリートダンス等ができる「ニュースポーツ広場」を求める意見が多数あった。

弓道場は竹ヶ端に一ヶ所しかなく、福山市弓道の競技人口からすれば当然の要望であろう。次の冒険遊び場という馴染みの無い人が多いかもしれないが、私は東京都世田谷区のと真ん中にある羽根木プレーパークを見学したことがある。

住民のボランティアが常駐して焚き火ができた、大きな木の間にロープを渡したターザンブランコがあったり、穴を掘ったりできる野性味あふれる公園であった。文部科学省の調査によれば「自然体験が豊富な

最後のスケボーやインラインスケートは、路盤のタイルが割れたり他の利用者に対する危険があったりするの、福山市内すべての公園で禁止されている。しかし、このような臭いものに蓋をする方法で愛好者を締め出すことはもう限界ではないか。近隣の市町の多くは専用の公園を整備している。また、先のソチオリンピックのスノーボードで銀メダルを獲得した若干15歳の平野歩選手も、スケボー出身であった事は記憶に新しい。子供の遊びという認識の方も多いかもしれないが、実はプロとして活動している選手も多く、立派な競技スポーツと言える。

福山市の公園整備は広瀬と山手のグラウンドゴルフ場の整備等、高齢者向けに偏ってははいか。子供の学習環境整備に関する予算は学校の耐震化に多くを取られ、校庭の芝生化等にはなかなか回ってこない。学力向上がすべてではなく、多様な教育・スポーツ環境を整えることが福山市の将来的な発展に繋がるのではないかと思う。